

平成28年度コミュニティ助成  
事業を実施しました

財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を実施しています。

このコミュニティ助成事業はコミュニティ活動の促進と健全な発展が図られることを目的に助成を行っています。

【上川口郷地区】



上川口郷地区では、紅白幕やテントなどを整備しました。

代々継承されてきた地域文化の記録を保存し、世代間の交流が活性化するように必要な備品を宝くじの助成金で整備しました。

【大方橋川地区】



大方橋川地区では、太鼓や法被などを整備しました。

集落の活性化ならびに結束を強めるため、秋祭りに必要な備品を宝くじの助成金で整備しました。



宝くじは、広く社会に役立てられています。

○お問い合わせ

本庁総務課企画振興係

☎ 43-2177 (直通)

泊まり合い人権教育研修会  
今年は大阪府箕面市で開催！

第44回「黒潮町泊まり合い人権教育研修会」を、7月30・31日に箕面市で開催し、黒潮町に在住・勤務している53人(スタッフ含む)が参加しました。

初日の午後から北芝の歴史について学び、その中で「いつか・どこかで・誰かが・なんとかしてくれる」という発想ではいけないのではないかという思いから、自分たちで考えて行動していくという活動スタイルに変えていったという話もありました。

地域を高めていくのは地域の方たちであり、住民が主体となった現在の活動の原点ではないかと思いました。

また、地域通貨を使った子どもの仕事体験や、「こんなことやりたい」に対して大人が関わり応援する取組、高齢者福祉や働く場・居場所づくりなど多くの取組について学びました。フィールドワークでは、保育所や、コミュニティロード、みんなの交流の場として作られた芝樂広場などを見学し、箕面市では各保育所に1人看護師

が配属されていることなどの話も聞くことができました。そして何より町全体が活発で、公園で遊んでいる子どもたちや初対面でも挨拶をしてくれる人など、人と人とのつながりを強く感じる機会となりました。

参加者からは、「黒潮町でもこんな取組をやってみよう」、「いつか誰かがではなく、自分から行動していきたい」といった感想を聞くことができました。

